

ただいまご紹介に預かりました、私、一般社団法人福岡青年会議所 今年度理事長を務めさせていただきます岩木勇人と申します。皆様どうぞよろしく申し上げます。

まずは、加地良一（かじりょういち）先輩はじめとする福岡 JC 歴代理事長の皆様、河邊哲司（かわべてつじ）会長はじめとする福岡 JC シニアクラブの皆様、本日は大変お忙しい時期にも関わらず多くの先輩方にご臨席を賜り心より感謝申し上げます。

そして本日は遠い地よりわざわざお越しいただきました皆様もご紹介させていただきます。日韓の国交正常化より一足先に、1965 年より 54 年間にわたり友好関係を築いてきたトリオ JC として、パク・ジュンヒョン会長はじめとする JCI プサンの皆様、阿部理事長はじめとする一般社団法人下関青年会議所の皆様、また、1984 年より 35 年間、絶え間ない交流の中で深い友情を育んできたゲイリー・リー会長はじめとする JCI シティの皆様、本日は福岡青年会議所の創立 66 周年の式典にお越しいただきまことにありがとうございます。

さて、昨年 65 周年の節目の年を迎え、福岡青年会議所は今年、66 周年という次の 70 周年にむけての第一歩目を踏み出しました。なんとといっても今年は 5 月に改元され、令和という新しい時代がはじまりました。

そんな新しい時代の幕開けをともにする 2019 年度は「きざし」というスローガンを掲げています。新しい芽がきざすがごとく、それぞれの手をあわせこの街に新たな価値を想像して欲しい。そんな思いでこの言葉をスローガンにさせていただきました。

ここで先輩方に今年度の取り組みを少しご紹介させて頂きたいと思います。

まず、先ほどもお話した通り今年度のスローガンは「きざし」そして運動方針として 3 つの柱を掲げました。一つ目はイノベーション（革新）、二つ目はリンケージ（連携）、三つ目はダイバーシティ（多様性）です。

そしてこの三つの運動方針を事業として形にしていくにあたり、外を向いて様々なことに触れる機会を創って欲しいと考えました。特に何度もメンバーに発信してきたキーワードの一つが「国際化」です。これまで以上に JC の国際の機会を活用し我々の運動に取り入れたい。そんな思いの中、今年度 G20 日本開催に際し、G20YEA という G20 加盟国の若手起業家による国際会議を福岡で開催する機会をいただきました。

主催は日本 JC でありましたが、日本 JC の担当委員会の副委員長として鍋山君が、九州地区には大谷議長、伊達副議長が、福岡ブロックの担当委員長として前川君が、そして福岡 JC

では吉田委員長をはじめとする FUKUOKA アントレプレナー開発委員会の皆様が、それぞれの役割のなかで G20YEA 成功に向けて大きく貢献してくれました。会議の最終日には財務大臣補佐官である井上貴博先輩にもお越しいただきコミュニケを受け取って頂きました。まさに福岡 JC メンバーの総力を結集して成功裏に終えることができたのは我々にとっても大変貴重な機会となりました。

今年度の運動方針のもとこれまでも様々な事業を各委員会が実現してくれています。

まずは、今年度「ところてん事業」として続いてきた新入会同期会事業を。西嶋委員長はじめとする研修委員会と新入会者同期会のみんながこれまでとは違う枠組みで行うことにチャレンジしてくれました。ボーリング大会で LOM 全体の懇親の場を設け、そこでのチャリティー金で児童養護施設のこどもたちとともに博多駅前広場をお借りし、大輪の花を咲かせた「Flower station HAKATA プロジェクト」

そして、議案の作成から上程、会議のアジェンダまでを一元管理でき、クラウドシステム化してくれた水崎委員長はじめとする総務財政委員会の皆様。

また、ラグビー W 杯日本開催に際し、ラグビーを地域に根差したスポーツとするために取り組んだ「ラグビーの未来を考える対談」や「スクラムギネス世界記録を狙った MORIMORI スポーツフェスタ」記録は残念ながら達成できませんでしたが、平和台陸上競技場というわたしたちの街の歴史を再発見でき、戦後初めて公の場に掲げられた日の丸を 71 年ぶりにその記念すべき場所に帰すことができたのもこの事業に取り組んでくれた森特別委員長はじめとする地域スポーツ創造特別委員会の皆様の努力の賜物です。

そして、今年は時代に合わせた定款変更も行いました。グローバル化する世の中、地域課題を解決するためにその地域でしか事業実施ができなかったものを条件付きで広げ、より運動の幅をもたせることにチャレンジしました。一昨日よりはじまった蓑毛委員長はじめとする FUKUOKA リーダー育成委員会の事業「FUKUOKA リーダー未来塾」では大学生を対象として福岡と香港での事業実施を予定しています。

他にもこれから予定している事業もあります。ここではご紹介しきれませんが、各委員長が組織のリーダーとして今年度の運動方針のもと様々な連携や多様性を生み出しながら多くのイノベーションを実現してくれています。改めて皆様には感謝申し上げます。

結びとなりますが、2019 年度も残り半年、折り返し地点を迎えました。こうして私たち現役メンバーが思いっきり JC というフィールドで活動できるのもここにおられます先輩方が

積み上げてこられた偉大なる歴史があるからに他なりません。ここにおられます皆様方から頂いたこれまでの我々の活動へのご協力に会を代表して心より御礼申し上げますとともに、これからも変わらぬご指導・ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。今日は感謝の想いを込めて福岡JCオールメンバーで懇親を深めることのできる1日にしたいと思います。これからもどうぞよろしく申し上げます。ありがとうございました。